



主催 ■ 野田商工会議所・野田市観光協会

《臨時駐車場》①中央小学校裏校庭、②創価学会野田文化会館駐車場 ※②の利用時間は21時45分までとなります。

《仮設トイレ》①キッコーマン上町月極駐車場、②千葉銀行駐車場、③須賀神社境内

※その他常設トイレとして本部、櫛のホールをご利用ください。



## 第21回野田みこしパレードスケジュール ●●●

時間	会場全体
15時00分~	交通規制開始
15時30分~16時30分	子供みこしパレード
16時30分~17時20分	オープニングセレモニー(本部前) 津久太鼓「響」演奏
17時20分~18時00分	第1回みこしパレード
18時00分~18時15分	パレード休憩
18時15分~18時55分	第2回みこしパレード
18時55分~19時10分	パレード休憩
19時10分~19時50分	第3回みこしパレード
19時50分~20時05分	パレード休憩
20時05分~20時45分	第4回みこしパレード
20時45分~21時00分	パレード休憩
21時00分~21時30分	第5回みこしパレード(本部前でずれ違い)
22時00分~	交通規制解除

※上記のほかに、キッコーマン本社前で「津久太鼓 響」、東武証券駐車場で「上手囃子保存会」、千葉興銀駐車場で「喜楽会(お囃子)」、コモリヤ家具駐車場で「鶴鳴はやし会」の演奏が随時おこなわれています。



## 大人みこしコース順路 ●●●

### ◎Aコース(上町・七光台・中里・女組)

- 第1回パレード 17:20~ けやき夢ロード→中央小交差点→本町通り→千葉興銀→旧NTT→旧共楽館通り
- 第2回パレード 18:15~ 旧共楽館通り→櫛のホール→けやき夢ロード→中央小交差点→本町通り→上町交差点
- 第3回パレード 19:10~ 上町交差点入替→本町通り→下町交差点手前
- 第4回パレード 20:05~ 下町交差点手前→下町交差点入替→本町通り→本部前
- 第5回パレード 21:00~ 本部前→みこし同士のずれ違い→解体場所へ

### ◎Bコース(仲町・中野台・清水)

- 第1回パレード 17:20~ けやき夢ロード→中央小交差点→本町通り→上町交差点
- 第2回パレード 18:15~ 上町交差点入替→本町通り→下町交差点
- 第3回パレード 19:10~ 下町交差点入替→本町通り→千葉興銀→旧NTT→旧共楽館通り
- 第4回パレード 20:05~ 仲町・清水…旧共楽館通り→櫛のホール→けやき夢ロード→中央小交差点→本町通り→本部前  
中野台 …旧共楽館通り→旧NTT→千葉興銀→本町通り→本部前
- 第5回パレード 21:00~ 本部前→みこし同士のずれ違い→解体場所へ

### ◎Cコース(下町・上花輪・太子堂・中根)

- 第1回パレード 17:20~ けやき夢ロード→中央小交差点→本町通り→下町交差点
- 第2回パレード 18:15~ 下町交差点入替→本町通り→千葉興銀→旧NTT→旧共楽館通り
- 第3回パレード 19:10~ 旧共楽館通り→櫛のホール→けやき夢ロード→中央小交差点→本町通り→上町交差点
- 第4回パレード 20:05~ 上町交差点入替→本町通り→本部前
- 第5回パレード 21:00~ 本部前→みこし同士のずれ違い→解体場所へ



飲んだら乗るな！ ダメ 飲酒運転！

# 第21野田みこしパレード参加団体紹介

**上町雨蛙みこし** 野田には古くから農作を願う雨乞いと、厄病除けとして津久舞の行事が受け継がれていて、津久の重次郎(津久柱に登って舞う人)の扮する装束が雨蛙です。これをみこしとし製作したのが昭和7年のことでした。この年は大日照りで七夕(8月7日)に雨蛙みこしを担いで雨乞いをしたところ、実際に大雨がふりだして霊験あらたかなことと喝采を浴びました。しかしコンクリート製で重すぎた事もあってお蔵入りとなり、現在は二代目で昭和49年に作られたものです。

**仲町黒獅子みこし** 昭和8年に製作された仲町黒獅子は、平成14年まで野田三ヶ町夏祭りに迎え獅子として活躍してきましたが、老朽化で修復が不可能となり平成15年上町の野口美樹氏により新獅子みこし完成となりました。新仲町黒獅子みこしは、高さ2.16m、巾2.1m、重さは330kgあり、黒色を基調に金色、赤色とバランスよく配色し、その姿は大きく迫力があり。これからの仲町区として大切な宝物です。

**下町金獅子みこし** 金色に輝く大きい獅子は、昭和10年に製作されました。目玉や鼻の大切な箇所は細密に彫刻され、つむじや耳の回りには芯をいれて固めてあります。また、獅子の毛はマニラ麻を丁寧に揃でよくといて、膠で元を固めて植え込んでいます。高さは2.5m、耳から耳までは2.7mあり、重さは330kgあります。この下町獅子は、上町の雨蛙と仲町の黒獅子とともに野田の名物となり、下町にとってもかけがえない宝物です。平成22年、平成の大補修ともいえる改修を行い、今まで以上に素敵な金獅子をお見せします。

**上花輪大杉みこし** このみこしは、大正14年野田市山崎の宮大工佐藤里次則壯氏の手により誕生しました。総樺作りの白木みこしで彫りの彫物は、東京紫又の帝釈天の彫物を手掛けた石川信光氏の作台座は11.6m(3尺8寸)、高さ孔雀まで2.3m(7尺6寸)、重さは不明、担ぎ棒の長さは12m。関東のみこし、ここに有り。夏の夜ゆったりと左右に揺れる様は重量感に満ちている。

**太子堂大杉みこし** 大正10年に東京下谷稲荷町で製作された太子堂大杉みこしは、昭和15年まで祭礼の時に渡御していましたが、16年から中断していました。昭和52年に岩崎寅三氏により修理を行い、みこしを復活しました。平成3年9月のみこしパレードの参加を契機に、平成4年7月に本格的な修理をして今日に至っております。高さは1.5m(鳳凰部分0.55m)で重さは不明です。

**中野台大杉みこし** 担ぎ手、周囲のギャラリーの動員数ナンバーワンのきれいなみこしです。特に夜、提灯に火を灯してからの美しさは…？。是非、ご覧になってください。現在のみこしは、昭和32年に市川市行徳のみこし師・後藤直光氏により製作されたもので、中根大杉みこしと血縁関係にあたるかもしれません？比べてみてください。みこしの大きさは？。重さは不明ですが、台座から鳳凰までの高さが2.3m、担ぎ棒の長さは11.2mです。さあ、皆さん。「中野台大杉みこし」を担ぎましょう。

**清水大杉みこし** 清水の大杉みこしは、昭和58年7月に長野県小諸市の神輿師・土屋克身氏により製作された二代目の神輿(台座3尺)です。

**七光台大杉みこし** 昭和56年に四国・徳島で制作され、金色に輝き豪華絢爛の美しさを誇っていた七光台大杉みこしは、平成19年の野田みこしパレードをもって引退しました。二代目の「七光台大杉みこし」は、平成20年に野田市岩名のみこし師・須田光男氏の手で製作され、高さ1.93m、幅は1.15m、重さは400kgです。引き続き文化の継承と交流のシンボルの一翼を担っていきます。

**中根大杉みこし** 中根の大杉みこしは、昭和3年7月に市川市行徳関ヶ島のみこし師後藤正光氏の手によって製作されたものです。みこしは低部から鳳凰までの高さが1.4m、巾1.1m、本体の重さ280kg、台60kg、担ぎ棒の長さ11.5m、重さ120kgで総重量460kgであります。

**中里天王様みこし** 明治38年の前みこし新築から100年目、渡御が復活してから25年目となる平成17年に新築された中里天王様みこしは樺材糸柱目の白木造り、屋根は軒唐破風の漆黒磨き塗り、天に鳳凰を頂く勇壮にて精緻極まるものとなりました。大きな時代の節目となった平成17年その大業は石に刻み後世に永く残されることと成ります。みこしの大きさは鳳凰までの高さ1.55m、巾1.5mです。

**女組大杉みこし** 上町区の子供みこしで、昭和3年に製作されたものです。高さは1.47m、巾は1.3m、重さは約180kgです。平成11年7月に完全修復し、現在に至っております。

**上手囃子保存会** 今は亡き深井謙治郎氏、田中松吉氏等の熱心な指導により、昭和初期に上手囃子保存会が結成されました。以来その保存継承に毎月2回の練習に励んでいます。中野台の祭礼には、必ずこのお囃子が演奏されています。平成初期から屋台を導入しおかめ・ひよつこの「もどき」も加わって、上手囃子保存会の内容が大いに充実しました。大晦日には鹿島神社の神楽殿でお囃子を演奏し、合わせてもどきの舞で新年初詣者をお迎えし喜ばれています。

**中里喜楽会** 川間は中里の宿で生まれ育って早60年になります。当会は平成17年よりみこしパレードに参加させていただいています。夏祭りには、祭ばやし(投げ合い)の囃子で、みこしの担ぎ祭に威勢を付け、パレード全体を盛り上げます。休憩時間には、めでたい場所には欠かせない「寿獅子」を演じます。始めに獅子が登場して、パレード中、怪我の無い様に悪霊を払い清めます。次に、大黒様が商売繁盛・子孫繁栄の福をパレード参加者の方々に授かります様、口上を謡い、打出の小槌を打ちながら舞います。最後にひよつこ踊りで観衆を情緒豊かな雰囲気させます。微力ですが、会員一同、日頃の稽古の成果を披露させていただきます。

**鶴嶋はやし会** 明治のはじめ頃に埼玉県の本ノ木や荻島、また東京などから江戸囃子が伝わり、当時鶴嶋(つるじま)といわれたこの地区に伝えられ、祭り囃子として現在傳承されています。五穀豊穡を願った祭りでありましたが、それを支えた囃子、御輿の文化は、今私たち郷土の貴重な文化となっています。毎年行われる夏祭りには、御輿の渡御とともに、お囃子、ひよつこ踊りなどが、賑やかに奏じられます。また地区に在所する福祉施設の盆踊りや慰問などにこの芸能を披露し、お年寄りの方々には大変喜ばれています。この伝統ある芸能をいつまでも伝えていこうと、後継者の育成をしながら、たゆまぬ稽古を続けています。

**下総之国津久太鼓響** 野田市の民族芸能として約200年の伝統を持つ「津久舞」と共に演じられる「津久囃子」をルーツに、1994年9月に創作太鼓のグループとして「響」が結成されました。樺のホール開館記念公演出演、日本太鼓フェスティバル出演、琴平神社式年大祭出演等、様々なイベントにも参加しています。

